

業種別景況予測

2025年7月～9月

						
	特に好調	好 調	まあまあ	やや不振	不 振	きわめて不振
部 会	4～6月 (実績)	7～9月 (見通し)	概 況			
寝 装 リ ピ ン グ			「まだまだ厳しい状況が続いている。先行き不透明。(毛布製造業)」 「各産地での高齢化・残業規制・人手不足により、受注をできないケースが増加している。(紡毛糸製造業)」など、先行き不透明とのコメントが多く寄せられた。			
織 維 ファッショ ン			「同業者の廃業があるためか、当社への問い合わせが時々ある。(捺染加工業)」 「生産量が激減し、先行きが不安である。(婦人服製造業)」 「全体的に良くない。原材料仕入価格の上昇が止まらず、収益状況は悪化傾向にある。(染色整理業)」とのコメントが寄せられた。			
工 業			「手形廃止の動きが加速し、サイト短縮の動きが連動して、資金繰りが厳しい状況。 トランプ関税の動き次第で景気が左右される。(工業用薬剤製造業)」 「今後、米国関税問題で先行き不透明である。(工業用部品製造業)」 「人材不足を補う協力会社の単価が高く収支が厳しい。(機械器具設置修理業)」とのコメントが寄せられた。			
建 設			「同業者の減少により、受注額増・収益も好転。(資材加工販売業)」 「大工仕事が激減。水道や古い塀の修理・塗装の依頼が少しあるぐらいで売上が減少。(大工業)」 「この先、見透しが難しい。まだまだ経費の高騰が続く、さらに収益が減少となるのでは。(建築材料卸売業)」など、先行き不安とのコメントが寄せられた。			
運 輸 倉 庫			「売上が減少し、利益も低下傾向。この先、見透しが難しい。まだまだ経費の高騰が続く、さらに収益が減少となる。(倉庫業)」 「物価上昇・原材料の値上がりが大きく影響している。トランプ大統領の動向が気になる。(運送業)」など、先行きに対する不安のコメントが寄せられた。			
金 融 理 財			「時代に即した新商品の開発が、各社、激しくなっている。(生命保険会社)」 「会計ソフトの使用料をはじめ、コストアップが著しいが売上に転嫁するのは困難。(土業)」 「売上が伸びるも、経費の増加により収益に結びつかない。(土業)」などのコメントが寄せられた。			
一 般 商 業			「仕入の価格上昇が止まらず、販売価格への転嫁が止むを得ない状況。(パン製造小売業)」 「今期は、売上・利益とも昨年とほとんど変化なく推移している。(調剤薬局業)」 「暑さのため、野菜等の質が悪く、価格も上がりつつある。(青果販売業)」 「豚肉の価格が高騰し、過去最高値になっている。(精肉販売業)」などのコメントが寄せられた。			
サービス商業			「物価高につき売上に打撃。(飲食業)」 「食材仕入れ値の上昇が収益に大きく影響している。(宿泊業)」 「万博効果により、売上・収益は好調。(旅行業)」 「仕入価格が高すぎる。経営が困難。(飲食業)」など、気候変動の影響に対するコメントも寄せられた。			

(調査概要) ●調査実施 令和7年7月 ●調査対象企業 278社 ●回答数 129社

管内企業をとりまく諸条件を考慮し、各企業が「景況」をどのように予測しているのかについて、継続的に調査し発表しています。調査は、四半期毎にとらえており、通常のシーズンの動向が理解できるようにまとめました。この「景況予測」が「結果」と比べてどうであったか、また、各々の業界対策・企業経営の一つとして、参考にしていただければ幸いです。

～調査機関～ 泉大津市田中町10番7号 泉大津商工会議所 業務課 TEL 0725-23-1111

前年同期と比較

泉大津の全産業のDI値は、前年同期に比べやや悪化。業種別にみると、運輸倉庫業については改善、工業・金融理財業・サービス商業は横ばい、寝装リビング業・建設業・一般商業はやや悪化、繊維ファッション業はきわめて悪化となったが、個別差がある。



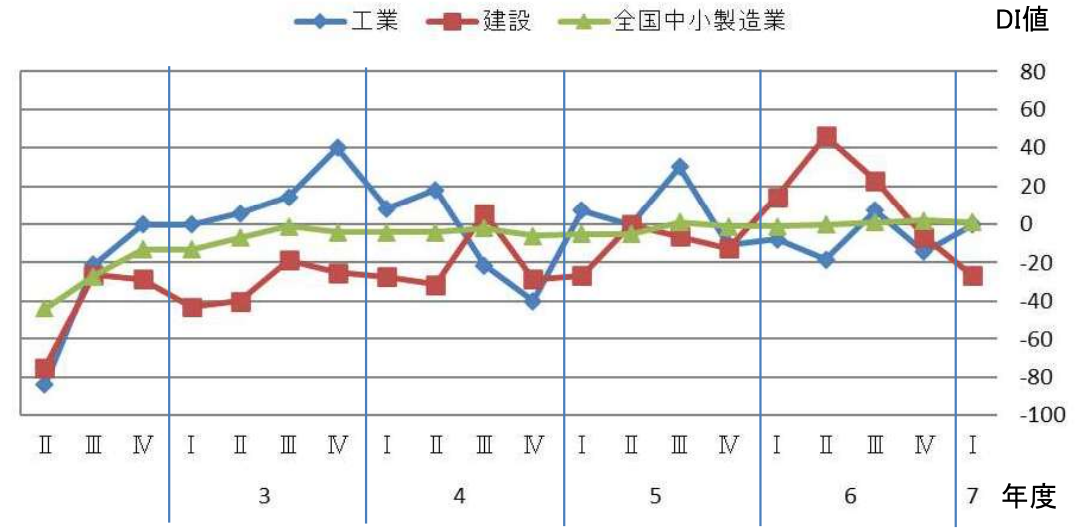
前年同期と比較

売上高について寝装リビング業・繊維ファッション業ともにやや悪化、何れも、製品の動きが鈍く、生産が減少となっている。



前年同期と比較

売上については、両業種とも回復傾向。運輸倉庫業は、収益が横ばい・増加傾向とのコメントも多いが、引き続き運転手の確保が困難で、今後の売上への影響が懸念される。



前年同期と比較

売上高について、工業は大きく変わりはないが、建設業は減少傾向。何れも、仕入価格・加工単価の上昇が止まらず、収益が減少となった。特に、建設業の人手不足が問題。



前年同期と比較

売上については、両業種とも回復傾向ではあるが、業種により、気候変動や不景気の影響を受け、仕入れ価格等の上昇が止まらず、収益は悪化傾向にある。

※DI値：売上状況の回答(増加－減少＝DI値)

※R2・3 新型コロナウイルス感染症拡大

I＝第一四半期(4～6月)

II＝第二四半期(7～9月)

III＝第三四半期(10～12月)

IV＝第四四半期(翌年1～3月)

⑨ 全国中小製造業・非製造業は前期と比較しています。